



謹賀新年

平成丁丑 元旦

桂坂自治連合会
会長 菊池 潤治

桂坂学区の皆様、
あけまして
おめでとうございます。
旧年中は何かとご支援を
賜り、お蔭様で自治連合
会の運営も順調に推移し
感謝しております。

さて、本年は丑年、着実に、
モ一進する年と思っ
ています。

いよいよ来年、桂坂自治
連合会誕生一〇周年を迎え
ることから、本年はその準
備の年と位置づけ、次の事
項について積極的に取組み
たいと思います。

- (1) センターゾーンの開発
整備による店舗等の誘致
- (2) 交番、児童館、保育所
等公共施設の設定
- (3) 桂坂消防団の設置

また、各種団体では、桂
坂地域女性会が発足し、現
在では一九〇余名の会員の
方々が、作品展、コンサー
ト、歩こう会等、幅広い活
動をされています。

自主防災会では、総合訓
練、リーダー研修をはじめ
様々な活動を行っています。

私たちの住む京都市
では十二月を迎えます
と毎年、人権啓発月間
として色々な啓発運動
が市内各所にて始まり
ます。

京都市人権啓発運動に参加して
桂坂自治連合会事務局
谷口和子

去る十二月二日、洛
西支所およびエミナー
ス周辺において啓発運
動が行われました。桂
坂学区では、事務局よ
り二名、そして地域女

19970101
[9607]
総37号
発行 桂坂自治連合会
編集 広報編集部

「救出七つ道具」を各防災
部に完備する等、その活動
内容も年々充実して参りま
した。

その他、西京区への参加
行事の面につきましても、
西京区誕生二〇周年を記念
する学区対抗体育祭に準優
勝をすることができました

し、さらに大文字駅伝洛西
予選会で、桂坂小学校が見
事優勝され、本大会に出場
されることとなるなど、桂
坂として大いに気を吐いて
くれました。

思えば、一〇年前は、全
く見知らぬ人ばかりでした
が、自治会の結成にともな
い、日常のふれあい活動を
通じ「ふるさと桂坂」と

の固き絆により、随所に、
黙々と頑張っておられる多
くの方々の姿に熱き思いで
一杯です。

どうか本年も一層のご支
援、ご協力を賜りますよう
お願い申し上げます。新年の挨拶
といたします。

九四年二月に発足した桂
坂学区自主防災会ですが、
早いもので今年、三回目の
総合訓練が、去る二月一
日(日)桂坂小学校グラウンド
にて行われました。

震度7の激震が桂坂を襲
い、各自治会の自主防災部
員の方が避難場所である桂
坂小学校へ避難するかわら
ら、情報を収集し、被害状
況や負傷者等の把握、確認
をするという想定で、訓練
は開始されました。

自治会ごとに購入した防
災七つ道具を携えて無事に
避難を完了、本番さながら
の雰囲気の中で、被害状況
が各自自治会より逐一報告さ
れました。

来賓の行政の方からは、
「災害は忘れた頃にやっ
てくる」、洛西地区の地震の
発生要素である「この地域
の活断層の調査を本格的に
始め」た、地域の皆さんも
今後ますます「防災に対す
る認識を深め」られ、「地
域と行政とが一体となつて
災害に強い街づくりを進め
ていきたい」との祝辞をい
ただきました。

この後、西京消防署の方
の指導により、非常時にお
ける救急・消防への電話の
要領、緊急傷害時の三角巾
の使い方、消火器の早期消
火の要領など一つひとつ説
明を受けては実地訓練をし
ました。

竹と毛布を使った簡易担
架の作り方、防災七つ道具
の取扱い方の説明など、基
本的なことばかりですが、
実際に体験訓練をしてみな
いと要領が分からず、内容
把握のできないことばかり
でした。

一通りの訓練が終了した
後、丁度お昼頃となり、最
後の訓練である給食・給水
訓練——地域女性会の皆さ
んに作っていただいた豚汁
を全員でご馳走になり、訓
練は終了しました。

僅か半日の短い時間でし
たが、このような、基本的
で、現実に対応でき、しか
も誰もが出来る非常時の対
応の仕方を、この日参加さ
れた方に知っていただくこ
とができましたし、また、
「災害に強い街をつくる」
だけだけでなく、文字通り「わ
れわれの街はわれわれで守
る」という認識を深めるこ
ともできました。

また、四季折々には、プ
ラタナス、ハナミズキ、サ
クラなど花や実の楽しめる
木々が多彩な色合いを見せ
てくれ、人の暮らしと自然
との好ましい共生が見事に
現出されます。

「めぐまれた自然環境、
表情豊かな街路樹、たがい
に行きかう人々が自然に交
わす挨拶——これら全て
を含めた、私のこのジョギ
ングコースを「健康歩道・
桂坂」と自分で名づけてお
ります。

桂坂学区の各地区名を樹
木の名でなぞつたこと、
桂坂の入り口には桂の木が
繁り、さらになだらかな上
り坂にケヤキ並木の続く街
路も、あと数年後には両側
の枝葉が交差し合つて緑の
トンネルとなることによ
う。

また、東に足を進めると
国際日本文化研究センター
が視界に拡がります。最近
とみに地域住民の参加でき
る公開講演会が催されてい
ますが、私自身、定年後は
この日文研の、多彩な文化
研究の催しにゆつくり参加
しようと、今から楽しみに
しています。

さらに右になだらかなス
ロープを通つて行くと、峰
ヶ堂に出ます。この辺りは
京都市内、宇治桃山、洛西
地区が一望できる場所であ
り、ワイドスコープで夜景
が見渡せることで、今やデ
ートコースとして新名所に
なっています。

桂坂学区の各地区名を樹
木の名でなぞつたこと、
桂坂の入り口には桂の木が
繁り、さらになだらかな上
り坂にケヤキ並木の続く街
路も、あと数年後には両側
の枝葉が交差し合つて緑の
トンネルとなることによ
う。

第3回 桂坂自主防災会主催

自主防災総合訓練



西念寺から桂坂小学校に
向かつて真東にスタートす
るのが、私のジョギングコ
ースの始まりです。
前日「宴会があつたり、
会議が続いた時などは、極
力、体に溜まったアルコール
やストレスを汗と共に体
外に放出しよう」といった
目標を立てて走り始めるの
ですが、実のところは、そ
の日の気分で行りたくなつ
たら走る程度の、ぐうたら
なジョギングなのです。

毎日何キロとか、あるいは
毎週何キロとか自分な義
務づけると、それ自体がス
トレスとなるので、「自然
にまかせ、体と相談しなが
らマイペースを守る」こと
をモットーとしています。

ただ体重が八〇キログラム
ラインに近づいたような時
は目の色が変わり、そそく
さと外へ飛び出します。
桂坂小学校を過ぎると、
左側の山手に野鳥園があり
ます。

そもそも京都の街なかには
御所のほか下鴨神社や平
安神宮などの森を除けば、
緑はあまりありません。
そんな京都人の緑へのあ
こがれを実現させたのが、
この桂坂でしょう。

野鳥園は人工の箱庭的な
ものでなく、本物の自然
をそのまま再現し、バード
ウォッチングの場を私たち
に提供してくれています。
この様な「自然」が私たち
の住宅地に隣接して保全さ
れていることは、桂坂に住
む私たちにとって大変幸せ
なことであり、他地域に比
べ誇りを感じます。

また、東に足を進めると
国際日本文化研究センター
が視界に拡がります。最近
とみに地域住民の参加でき
る公開講演会が催されてい
ますが、私自身、定年後は
この日文研の、多彩な文化
研究の催しにゆつくり参加
しようと、今から楽しみに
しています。

さらに右になだらかなス
ロープを通つて行くと、峰
ヶ堂に出ます。この辺りは
京都市内、宇治桃山、洛西
地区が一望できる場所であ
り、ワイドスコープで夜景
が見渡せることで、今やデ
ートコースとして新名所に
なっています。

この後はロータリーまで
一直線、時に疲れたら芝生
広場で寝ころぶこともあり
ます。ロータリーから北西
に向けて上り坂を一頑張り
して、元のスタート地点・
西念寺に戻る、これがジョ
ギングの「外周コース」で
すが、約四キロ弱のこのコ
ースで、私にはもう一つの
楽しみがあります。

それは、四季のうつろい
を見事に映す街路樹の表情
などを観察しながら走れる
ということなのです。

桂坂学区の各地区名を樹
木の名でなぞつたこと、
桂坂の入り口には桂の木が
繁り、さらになだらかな上
り坂にケヤキ並木の続く街
路も、あと数年後には両側
の枝葉が交差し合つて緑の
トンネルとなることによ
う。

また、四季折々には、プ
ラタナス、ハナミズキ、サ
クラなど花や実の楽しめる
木々が多彩な色合いを見せ
てくれ、人の暮らしと自然
との好ましい共生が見事に
現出されます。

「めぐまれた自然環境、
表情豊かな街路樹、たがい
に行きかう人々が自然に交
わす挨拶——これら全て
を含めた、私のこのジョギ
ングコースを「健康歩道・
桂坂」と自分で名づけてお
ります。

桂坂学区の各地区名を樹
木の名でなぞつたこと、
桂坂の入り口には桂の木が
繁り、さらになだらかな上
り坂にケヤキ並木の続く街
路も、あと数年後には両側
の枝葉が交差し合つて緑の
トンネルとなることによ
う。

また、四季折々には、プ
ラタナス、ハナミズキ、サ
クラなど花や実の楽しめる
木々が多彩な色合いを見せ
てくれ、人の暮らしと自然
との好ましい共生が見事に
現出されます。

「めぐまれた自然環境、
表情豊かな街路樹、たがい
に行きかう人々が自然に交
わす挨拶——これら全て
を含めた、私のこのジョギ
ングコースを「健康歩道・
桂坂」と自分で名づけてお
ります。

わがまち **桂坂**

「健康歩道」桂坂
桂坂 登

西京区支部 予選会 見事1位でゴール

桂坂小学校 木村

一月七日(土)の河川敷に多くの保護者や子どもたち、市小学校(大文字駅伝大会)の支部予選集まり、RCV放送会が福西小学校西側の生中継の中、午後二時にスタート。一周約七四五mを二周回る区間を、男子五人、女子四人の九人がたすきをつなぎました。前半は、境谷小学校との抜きつ抜かれつの大接戦、五区よりトップに立ち、歓喜の中を一位でゴールしました。この結果、平成九年一月二六日(日)、一〇時四五分スタートの(大文字駅伝大会)に初出場することが決定しました。予選会は、小畑川

花の木ラウンジ「毎週土・日開催」一、二月の催し 一月十一日(土)より桂坂在住の児童 書き初め展

十二月十四日、今年最後の行事として、ティタイムコンサートを大枝中学校で開催しました。午後のひととき、シャンソンを楽しむ、間にさやかなティタイム。歌っていたいただきましたのは、かえで自治会在住の咲田いづみさんです。咲田さんは子育てを一段落されてから歌の勉強を再開され、現在はライブ活動もされています。ご自分の夢を大切に、生き生きと輝いておられる姿に、これからの女性の生き方として多くの学ぶことがあるような気がしました。今回の企画にも、「地域のごですから」と快くボランティアとして出演してくださいました。「パリの空の下」で始まり、「星に願いを」まで十五曲。岸洋子さんのレパートリーなど、私たちにもなじみ深い曲をおしゃべりをまじえて歌ってくださいました。最後は全員で、「学生時代」を合唱し、しばし乙女の頃を思いだし、咲田さんの美しい歌声に少し忘れて、心豊かなゆりの時を過ごしました。

西京区誕生二〇周年記念

スポーツ フエスティバル

しらかば自治会 福田 良子

一月二三日(祝日)桂川小学校グラウンド、桂川地域体育館にて、西京区誕生二〇周年記念スポーツフェスティバルが開催されました。お天気に恵まれ、爽やかな秋晴れの下、熱戦が繰りひろげられました。何といっても、リレーは圧巻で、わが桂坂はベストメンパーで臨み、見事な成績でした。小学生の女子は優勝、年齢別混合リレーは準優勝を勝ちとることができました。応援席も、チア(元ガール)

選手・役員の皆さま、学校関係者の方々、応援し励ましてくださった皆さまの、(心ひとつ)に取組んだ結果だと思えます。これから「仲のよい桂坂」を目指して歩んでいきたいと思っています。

桂坂地域女性会 山田 まゆみ

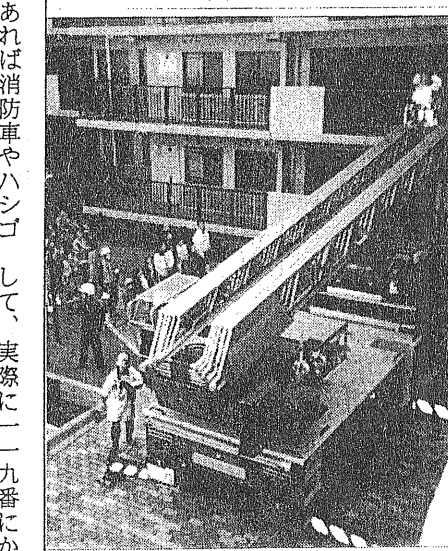
「桂坂」の大会結果 小学生女子リレー 優勝 年齢別混合リレー 2位 大縄跳び 優勝 玉入れ 優勝 総合 準優勝

出場された方で、ゼッケンと鉢巻をお持ち帰りの方は、事務局の基太村までお返しください。

心躍るひととき

5階建ての集合住宅である私たちが「はなみずき自治会」は、今回、ロイヤル団地管理組合とともに、桂消防署の協力を得て、団地内の避難訓練および消防訓練を行いました。十一月二四日(日)午前一時、団地内の5階で火災が発生し一人が逃げ遅れたという想定です。訓練は、電話で実際に一一九番通報するところから始まり、通報に続いてハンドマイクで「避難訓練を始めてください」との呼びかけ。これを合図にヘルメット・腕章姿の班長が各館に散らばり、「避難訓練です。中庭に避難してください」と声をかけて回りました。

はなみずき自治会 消火・避難訓練



はなみずき自治会 山本佳子 この後は練習用の水入り消火器を使った消火訓練です。消火器の使い方説明を受けた後、燃えている火に向かって消火器を使ってみました。白い粉の出る本物の消火器ではありませんでしたが、大多数の方が実際に試みることで貴重な体験となりました。さて、今回の消火避難訓練は、消防署の協力と一一〇名近い方の参加を得て無事終了することができました。はなみずき自治会としては初めての試みでしたが、実際にやってみて、幾つかの問題点が浮き彫りになったようです。私たちの団地には放送設備がないため、非常時、各戸への連絡はどのようにすればよいのか。お年寄りや子供だけになるお宅の把握ができるか。また、どこに避難誘導すれば安全か、など、今後の課題はたくさんあります。今回の経験を第一歩として、イザというときの備えを整えていく必要がありそうです。そして何よりも、そのイザというときが来ないよう、日頃の注意を欠かさないようになれば、心と言いつつ一日でした。

ハシゴを伸ばすことはできません。ジャッキ分を含め、少なくとも幅5mのスペースが必要と。先日の広島における高層住宅の火災で、消防車が十分に活躍できなかった原因も、こんなところにあつたのかも。この団地でも、違法な駐らせてほしいとのこと。その後、けが人も救急車で運び出して、避難訓練は終了です。引き続き、消防署の方からのお話がありました。まず、一一九番通報では、初めに「救急か、消防か」を言ってほしい。次に、住所、名前、目標、状況を知らせてほしいとのこと。この後は練習用の水入り消火器を使った消火訓練です。消火器の使い方説明を受けた後、燃えている火に向かって消火器を使ってみました。白い粉の出る本物の消火器ではありませんでしたが、大多数の方が実際に試みることで貴重な体験となりました。さて、今回の消火避難訓練は、消防署の協力と一一〇名近い方の参加を得て無事終了することができました。はなみずき自治会としては初めての試みでしたが、実際にやってみて、幾つかの問題点が浮き彫りになったようです。私たちの団地には放送設備がないため、非常時、各戸への連絡はどのようにすればよいのか。お年寄りや子供だけになるお宅の把握ができるか。また、どこに避難誘導すれば安全か、など、今後の課題はたくさんあります。今回の経験を第一歩として、イザというときの備えを整えていく必要がありそうです。そして何よりも、そのイザというときが来ないよう、日頃の注意を欠かさないようになれば、心と言いつつ一日でした。

ハルちゃんのおぼんざい

さわらの雪南天——4人分

Table with ingredients: さわら (4切), 卵白 (2個), 片栗粉 (小匙1杯), イクラ (1杯), 醤油 (大匙1杯), 酒 (大匙1杯), みりん (大匙1杯)

- 作り方 ① さわらは、幽庵地に10分程つける。 ② 200℃に熱したオーブンで5分焼く。 ③ 卵白に片栗粉を入れ固く泡立て、②にのせて3分焼く。 ④ イクラを南天の実に見立てて飾る。

